

# 緊急要望書

埼玉県議会自由民主党議員団

# 金属類に関する盗難被害の防止に向けた緊急要望書

本県では、窃盗犯罪の中でも、特に金属類に関する盗難被害が近年急増している。令和5年中の被害件数は702件と統計をとり始めた令和2年比で約4.5倍に、被害額は約4億8,000万円と令和2年比で約7.9倍にそれぞれ増加しており、厳しい状況にある。本年に入ってから被害は増加を続けており、本年5月末現在の被害件数は460件と前年同期比で約1.9倍となるなど、深刻な情勢が続いている。

また、金属類に関する盗難被害が連日のように報道され、県民の日常生活への不安がより一層大きいものとなる中、本年6月には、県内の中学校において、電気ケーブルが切断されて盗難被害に遭った影響により、停電で空調が動かず、給食の調理もできなかったため、午前中で授業を打ち切らざるを得なくなった事案が発生するなど、県民の実生活にも支障をきたす事態となっている。

さらに、窃取された金属類は、金属類買取業者に売却・換金されている実態がうかがわれるところであり、その取引時に十分な身分確認が行われていないことが、不正流通等を助長している可能性も考えられる。

このように金属類に関する窃盗犯罪は、県民の財産に対する損失を生むだけでなく、県民の日常生活にも直接影響を及ぼし得るものである。

そこで、県民の安全・安心を確保するため、警察においては、下記のような金属類に関する盗難被害を防止するために有効かつ多角的な対策をより一層強化することを要望する。

## 記

- 1 金属類盗難被害防止対策の推進(関係事業者との情報共有等)
- 2 金属類窃盗犯の検挙対策の強化
- 3 金属類買取業者に対する盗難金属類の不正流通防止対策の強化  
(取引時の身分確認の徹底等)

以上

令和6年7月22日

埼玉県警察本部長 鈴木基之様

埼玉県議会自由民主党議員団  
団長 田村琢実